



国際ロータリークラブ第2620地区 2023-2024年度

RI会長 ゴードンR. マッキナリー

会長 竹田 浩富 幹事 伊原 謙治

朝霧アリーナより



竹田 浩富 会長

例会場 富嶽温泉 花の湯 例会日 毎週金曜日 月の最終週は夜間

事務所 〒418-0003 静岡県富士宮市ひばりが丘805 富嶽温泉 花の湯内 公式HP <http://fujinomiya-west-rc.com/>TEL.0544-23-2122 FAX 0544-23-2122 Mail [fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp](mailto:fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp)

## No.8 通算 1539 号 2023 年 9 月 1 日(金)

### ゲストビジターの紹介

スピーチ・ゲスト

特別養護老人ホーム 星の郷 施設長

土井正孝 様

### 会長挨拶 会長：竹田 浩富 君

先日北海道で捕殺駆除されたヒグマの OS018 の話をします。2019年7月ごろから、北海道の標茶町や厚岸町で牛66頭を襲い、北海道庁が特別対策班を設置するほど世間を騒がせた最凶ヒグマ OS018。最後に見かけられた標茶町から40km以上離れた釧路町の牧草地で発見され、駆除されました。OS018を追い続けた男たちの証言によると、駆除当初、OS018だとは思わなかったそうです。これまでにOS018が目撃された地域は北海道東部の標茶町とその南東部に位置する厚岸町の2地域でした。OS018とは最初に目撃された標茶町の町内「オソツベツ」という地名と、前足の幅が「18センチ」だったことから名づけられました。これまで雄ヒグマが減多に狙わなかった乳牛を獲物にしていること、朝夕待ち伏せるハンターの目をかいくぐる用心深さから、恐れられていました。このOS018を捕獲したのは猟友会のハンターではなく、釧路役場の有害鳥獣駆除対応を担当する部署に所属する40代の男性職員でした。役場に勤務しながら鉄砲撃ちとしての顔も持つ珍しい役人ハンターです。捕獲された2日前の7月28日、釧路町に2軒ある酪農家のうちの1軒からクマの目撃情報があり、私ら役人と酪農家は顔見知りなので、職員が『んなら、見とくわ〜』という感じで29日と30日にパトロールすることとなり、30日の朝5時ごろ、横たわっているところを発見したようです。職員を見ても逃げなかったらしく、まず首に1発、近づ

くと動いたために頭部に2発撃つとまもなく絶命。捕獲当初、このクマがOS018だとは思わなかったそうです。そのため、軽四駆のジムニーに積んだが、そのままの走行は無理と考え、処理業者が持つ荷台のある車両に積み替えて運び、解体したといひます。体長は尻尾から頭まで2メートル10センチで、体重は330キロ、手の平は20センチとかなり大型でした。すでに解体済みで毛だけしか残っていませんでしたが、念のために鑑定することとなり、8月10日に体毛のDNA鑑定を依頼しました。その結果が8月18日の遅い時間にメールで届いていたのですが、すでに職員は退勤。その日は金曜日だったので、週明け8月21日の朝に発覚しました。

OS018は人前に姿を現さず“忍者”とも呼ばれていました。OS018を駆除した役場職員は「ケカで弱ってたんじゃないか。OS018に手傷を負わせるより強いクマ、第2第3のOS018がまだいるかも知れない」と言っています。そして誰もOS018と知らないそのヒグマは、駆除された7月30日に、仕留めたハンター自身によって、道東の白糠町にある食肉加工会社に持ち込まれました。大きい個体だったことから、会社の人は「OS018かもね」と冗談を飛ばしたものの、本物はずっと大きいと思っていたという。そして解体され真空パックに詰められると、食肉として出荷。東京のジビエ料理店やインターネットでジビエなどを販売する釧路市の業者に売られていきました。釧路市の業者が運営するインターネットの販売サイトでは、8月中旬から入荷した肉を販売していたが、その肉がOS018と判明してからは一気に注文が増加、完売状態になったという。私はクマの肉はあまり食べないのですが、皆さんはどうでしょうか。

## 幹事報告

## 幹事 伊原謙治 君

\*別紙幹事報告参照

\*今回は9/10(日)静岡第2グループ合同奉仕作業田子の浦海岸清掃奉仕です。現地に午前9時に集合してください。持ち物とし軍手、トンゴ、水などをお持ちください。また、家族での参加の方は申し出てください。

\*次次回9/15(金)はクラブ協議会「これからのクラブにとって何が必要か?」第二回目です。各グループのリーダーは発表原稿を電子化して幹事のところへ届けてください。

\*例会終了後理事役員会を開催します

## 出席報告

	会員数	計算会員数	出席	欠席	MU	比率
今週	21	21	18	4	1	80%

☆は出席免除者

欠席者: ☆外木規之 ☆片岡博昌 仲亀秀樹 早川英寿

## 本日のお祝い

○会員誕生日 赤池次郎君 s22.8.5

石田道彦君 s34.9.8

○配偶者誕生日 早川英寿君夫人朋子様 9.7

○入会記念日 近藤憲司君 h24.9.7

## 本日のスマイル

○9/3より10日間のクルージングに行っておきます。

楽しんで来ます。…若林眞治君

○来週の田子の浦清掃奉仕のイベントを楽しみたいと思います。…渡邊奈津実君

## 本日のプログラム

社会奉仕委員会担当

講演 「高齢者福祉の現状といくつかの課題」  
特別養護老人ホーム 星の郷 施設長 土井正孝 様

日本は1970年に65歳以上の人口が総人口の7%を超えた「高齢化社会」となり、14%を超えて「高齢社会」に突入したのは1994年のことです。現在、高齢者人口は29.0%に達しています。4人に1人が高齢者です。この変化に行政が対応して社会福祉の分野として「老人福祉法」を定め、インフラを整えて来ました。

市内に140の介護施設があります。特別養護老人ホーム(特養)は、医療上の処置が必要な要介護3以上の高齢者を対象にしています。それに対して、老健はそれに準じた介護のための施設です。違いは医者が常

駐しているかどうかです。2000年までは、個人の入所が特養か老健の選択は行政が判断してきましたが、今は本人の自由な裁量に委ねられています。

さて、高齢者福祉の原資は介護保険法にもとづく介護保険料によってまかなわれています。介護保険料の支払いは40歳以上、富士宮市の介護保険料の基準額は一ヶ月当たり6,075円(最高12,150円)です。

しかし、この高齢者福祉を支える環境は今後次第に厳しさを増していくことが予測されます。生産人口の占める割合が減少傾向にあるからです。

2050年には日本の総人口は一億人を割り込み、生産年齢人口が51.5%に対して、65歳以上の老年人口が38.8%に達します。現在は2人で1人を支えるというあり方が、2050年からほぼ1人が1人の生活を支えるということになります。

令和4年の平均寿命男81.05、女87.09。平均健康寿命並びに支援年数、男72.68/8.37年 女75.38/11.71年となっています。大切なことは、どれだけ長生きするかではなく、どれだけ人のお世話にならないで、日常生活を普通に送れるかということです。

さて、この高齢社会において無視できない大きな問題があります。8050問題という。親が80歳に達して介護を必要とする年齢に達していたときに子どもの方が50から60になっているということですが、もし、その子どもが長期の引きこもり、離職、病気などで経済的、物理的に支えられないとしたらどうなるかということです。実は富士宮市における8050問題は深刻です。同居の高齢者に対する家族による虐待という事例もあります。星の郷では家族、配偶者による虐待からの臨時的避難用に6ベッドを用意しています。

さて、とにかく、元気なままで高齢の時をできるだけ長く過ごすことが大切なわけですが、この高齢社会を生きる上でリスクとなるのが認知症の問題です。認知症は病気です。認知症の重篤なことは、一端これに罹患すると改善するとか、治癒するということは通常ないという点です。最近、アルツハイマーについてその病状の進行を抑制する薬品が開発され、日本でも使用が認可されました。しかし、まだ試験段階です。

認知症の患者にどのように対応するか。施設の現場で日々さまざまな努力をしています。まずは、病気としての認知症についての知識を持つこと、また、できるだけ認知症にならないように備えることが必要です。また、認知症の人に対しては、認知症の理解に立って本人に向かい合うことが必要です。 ※発言要旨抄録